

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 10 No.6 2008年3月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日本アバイア、個別導入に比べ7割安のUCパッケージを提供

日本アバイア株式会社(東京都港区)は、低コストで容易に導入が可能なユニファイド・コミュニケーション・パッケージを3月19日に発表した。

今回発表された UC パッケージは、「Avaya Unified Communications Essentials Edition(アバイア・ユニファイド・コミュニケーションズ・エッセンシャルズ・エディション)」と「Avaya Unified Communications Standard Edition(アバイア・ユニファイド・コミュニケーションズ・スタンダード・エディション)」の2種類。

Avaya Unified Communications Essentials Edition は、IP-PBX ソフトウェアにメッセージング・ソリューションを組み合わせた UC のインフラ・パッケージ。IP-PBX ソフトウェアやメッセージング・ソリューションが含まれる。

Avaya Unified Communications Standard Edition は、UC アプリケーションとそれを実現するミドルウェアを組み合わせたアプリケーションパッケージ。H.323 や SIP ソフトフォン、マイクロソフト Office Communicator 向けミドルウェア、モバイルアプリケーションソフトウェアなどが含まれる。

また両方を同時に購入できるパッケージも合わせて提供する。

日本アバイアの発表資料によると、これまで IP-PBX と UC アプリケーションを個別に販売していたが、「どのアプリケーションを購入すればよいのかわかりづらい」、「ひとつの UC アプリケーションでは UC 導入のメリットが明確でない」といったフィードバックを受けたという。そのため容易に製品選択や導入管理が行え、尚かつ、個別に導入した場合と比較して7割安い価格で UC ソリューションを今回提供することにした。5月から提供を開始する。

アールネット、時間単位で利用できるテレビ会議 ASP サービスを開始

株式会社アールネットコミュニケーション(東京都新宿区)は、IP ネットワーク多地点テレビ会議システム APS サービス「NET de MEET(ネット・デ・ミート)」に「貸し会議室プラン」を4月1日から販売開始する。貸し会議プランによって、同サービスを時間単位で利用できる。

NET de MEET は、Visual Nexus(ビジュアルネクサス)の ASP サービス版。Visual Nexus の機能を ASP サービスで提供するもので、H.323 に準拠しているため既存のテレビ会議専用端末もサービスを利用できる。2006年2月のサービス開始当初は、月額固定料金だった。「継続的に利用できるかわからない」、「使用してみたいが固定的なコストはかけられない」といった声が多かったため今回このサービスを開始することにしたという。

Visual Nexus とは、沖電気工業が提供する H.323 に対応した PC テレビ会議システム。当初は TCB テクノロジーが開発販売していたが、2007年4月に同事業を沖電気工業へ譲渡している。

(Net de Meet サービス開始関連記事:Vo.8 No.5 2006年2月20日号)

製品・サービス動向-海外

独シーメンス、HD テレビ会議専用端末と PC クライアント販売開始

独シーメンスは、同社のユニファイド・コミュニケーションソリューションである「OpenScape Unified Communications(オープンスケープ・ユニファイド・コミュニケーション)」に対して、HD テレビ会議システムのラインナップ「OpenScape Video(オープンスケープ・ビデオ)」の提

供を開始する。今回の発表は、HD テレビ会議、PC テレビ会議、SIP 電話などをシングル コミュニケーション ソリューションとして提供するもの。

テレビ会議システムは、HD に対応しており、専用端末タイプ3機種とPCデスクトップクライアント版となる。専用端末は、6 拠点の多地点機能を内蔵した「VHD 600」、4 拠点までの多地点機能を内蔵した「VHD 400」、多地点機能を内蔵しない「VHD 100」を提供する。

OpenScope Video の製品と OpenScope UC を組み合わせると、OpenScope UC サーバを軸に、パソコン上の画面に表示されるプレゼンス情報から簡単なクリックで映像と音声の通話や多地点会議などが行える機能を提供する。

ポリコム の HD ビデオ会議システム、マイクロソフトの OCS 2007 に対応、またマイクロソフトの RT Video と RT Audio もサポート

米ポリコム社は、米マイクロソフト社との提携関係をさらに拡大したことを発表した。

マイクロソフトのユニファイドコミュニケーションプラットフォーム「Microsoft Office Communications Server 2007(OCS 2007)」向けにポリコムが現在 OCS 2007 専用の IP 電話機 (Polycom CX 700、Polycom CX 200) とスピーカーフォン (Polycom CX 100) を提供しているが、それに加え、今回の提携拡大で HD(ハイデフィニション)ビデオ会議システムとの統合ソリューションも追加することになった。

ポリコムとしては、SIP(Session Initiation Protocol)を使用して OCS 2007 と接続し、デスクトップ上のビデオ会議アプリケーションやHD対応ビデオ会議システムでシームレスなコラボレーションを実現する考え。それによってユーザは、マイクロソフトのユニファイドコミュニケーションプラットフォーム環境で、連絡先リストを使ってビデオ会議を開始したり、インスタントメッセージングセッションからビデオ会議に移行したりするなどができるようになる。

OCS 2007 への登録と認証及びプレゼンス情報の共有を行うことで、OCS 2007 ネットワーク上のユーザは、Office

Communicator 2007 やプレゼンス表示機能を搭載した IP 電話機で、ポリコムのビデオ会議システムのプレゼンスを確認できる。またポリコムのビデオ会議システムユーザも OCS 2007 ネットワーク上の他のユーザのプレゼンスを確認できる。その結果、プレゼンス上の連絡先をクリックするだけでビデオ会議を簡単に開始することができるようになる。

さらに今回ポリコムでは、マイクロソフトの「RT Video」コーデックと「RT Audio」コーデックをサポートするビデオ会議ソリューションも提供する。Microsoft Office Outlook 上で音声会議やビデオ会議のスケジューリングを行い、IP、ISDN、アナログ電話回線など異なるネットワーク上の端末をシームレスに接続することができるようになる。

業界ビジネス動向-海外

米 West 社、仏ジェネシスカンファレンシング 株式公開買付による買収意思を表明、予定金額は 1 億 8290 万 EURO 規模

米 West Corporation 社は、フランスの会議サービス大手 Genesys Conferencing 社に対して株式公開買付による買収を行う旨の意思表示を発表した。既に Genesys Conferencing 社取締役会では承認されており、株主総会に諮る状況。友好的買収と両社からプレスリリースが発表 (2 月 18 日) されている。

Genesys Conferencing 社はフランスの株式市場に上場しており、株式公開買付においては、2 月 18 日の終値に対して 50%のプレミアムを上乗せして、普通株1(株)当たり 2.50EURO での買付を予定している。これによる取引金額は、1 億 8290 万 EURO(約 288 億円)規模になる予定。

West Corporation は、会議サービス業界の大手である Genesys Conferencing 社を買収することで、自社の会議サービス事業部門である Intercall 社の事業強化を図り、グローバル市場でのプレゼンスを高める考え。

【CNAレポート・ジャパン橋本の補足】

West Corporation 社は、CRM ソリューション事業からこの会議システム関連の企業、Intercall(2003年)、Sprint 会議サービス部門(2005年)、Raindance(Web 会議 ASP サービス、2006年)と1000億円規模に近い金額で買収をしてきたと言われている。現在 West Corporation 社は、欧米の会議システムサービス市場(CSP)では常に動向が注目されている。

(関連記事:Vo.8 No.6 2006年2月28日号など)

Videoconferencing Insight コラム：北米での景気後退と環境問題へのグローバルな取り組みは会議システム市場にとって追い風ではないか。

4 February 2008, Don't listen to gloomy forecasts for 2008; 2008 will be another year of steady growth for the videoconferencing industry and for the unified communications(UC) market as a whole.

(訳者注：このコラム内でのテレビ会議は Web 会議も含まれる)

(2月4日)先週一週間金融経済関係の記事を見ていると、2008年北米の景気は後退するという見方で多勢を占めるが、テレビ会議市場については、景気後退による影響はほとんどないに等しいと考える。世界のテレビ会議市場は、この10年間、年率で20%から30%の間を順調に成長してきた堅実な市場だ。ブラジル、ロシア、インド、中国など BRIC 諸国が2008年も引き続き急速に経済が拡大している中、単に北米における企業の設備投資や IT 投資の削減の傾向が見られるからといって、にわかにはこの世界全体のテレビ会議市場の成長にブレーキがかかるとは言い切れないと思う。

この見方に同調する業界からの声も聞こえてくる。たとえば、タンバーク社の CEO Fredrik Halvorsen 氏は、2月初めの同社の業績発表で、「景気後退による影響が懸念される経営環境ではあるが、北米での当社の事業は今のところ特に大きな影響は受けていない。」と言った趣旨のコメントを出している。

実際のところ、景気後退の折、テレビ会議システムの役割

である経費削減を重視する見方が企業に広がってきている。これは、企業での新規採用を抑えることも含む広範囲に及ぶもので、企業における余剰コスト削減の動きは本格化している。

ただ企業の経費削減努力に反して、昨今の原油価格の高騰を合わせて、航空旅費は10%、宿泊費は8%と、それぞれ上昇しており企業への負担が増えている(The 2008 Global Business Travel Forecast by American Express 参照)。そのため、2008年の経費レベルを、2007年の同程度あるいはそれ以下に抑えるためには、さらなる本格的なビジネストラベルの削減が必要になるとの見方が一般的。そこにテレビ会議システムの企業での役割がある。テレビ会議は企業でのコミュニケーションを活性化するとともに、ビジネストラベルを削減する効果を持つ。

一方、環境問題へのグローバルな取り組みは、テレビ会議やユニファイド・コミュニケーションのさらなる成長への契機としても見られている。企業では、組織内外における炭素排出量の算定作業を行うところが増えている。タンバーク社も同様な取り組みを行っているという。同社での15,750トンのCO2排出量のうち25%が出張あるいは会社設備からのものと分析された。既に社内では、月に6万回のテレビ会議システムによるミーティングが行われているが、同社の CEO は、排出量を2009年までにさらに10%削減する意気込みを見せる。

最近では、出張を会議システムで置き換えることでCO2がどの位削減できるかを算出するためのさまざまなウェブサイトが登場している。ひとつの良い例が、iLinc社の“Green Meter”と呼ばれる Web 会議システムソフトウェアだ。この Green Meter では、オンライン参加者間のお互いの物理的距離を基に、その Web 会議ミーティングによって削減されたCO2の排出量を、公的に承認されているCO2削減算出方式によって自動で算出することが出来る。

テレビ会議システムは、個人の生産性を向上させ、ワークライフバランスを実現するツールとして今まで認知されてきたが、それらに加え、景気の悪化による企業での経費

削減努力の浸透とともに CO2 削減への取り組みの機運が追い風となって、テレビ会議市場は 2008 年も順調に拡大していくのではないかと筆者は期待している。

著名な調査会社もその見方を裏付ける市場統計予測を出している。一例に米国の会議システム専門の調査会社である Wainhouse Research 社が最近 In-Sat 社と協同でユニファイド・コミュニケーション市場の市場予測レポートを発表したが、それによると、2007 年から 2012 年まで年率で 25%の力強い成長を見せるだろうと予想している。「社会の不確定要因を除いて検討したとしても、ユニファイド・コミュニケーション市場は、2007 年の 88 億 USD から 2012 年には、242 億 USD の市場へ成長すると予想した。この期間の CAGR(Compound Annual Growth Rate)は、24.9%と予想され、引き続きブロードバンド IP テレフォニーや VOIP ホスティングで高成長を維持するだろう。一方また会議サービスでは堅実に 7%程度と見ている。」

両社から発表された市場予測レポートは、プレゼンス/インスタントメッセージング、IP テレフォニー、音声会議、ウェブコラボレーション、チームワークスペース、ユニファイドメッセージング、テレビ会議システムの分野を統合してユニファイドコミュニケーション(UC)と定義している。また、レポートは、UC 製品予想と UC サービス予想にわけて分析を行っているが、UC は、“新たに立ち上がりつつある新規市場”と見ている。たださまざまな違った機能を持った製品が同じ UC として括られている面があるため、今後 UC の定義づけの整理が課題となっている。

以上、市場悲観論に反論する形でこのコラムを執筆した。ユニファイド・コミュニケーション市場は、2007 年 11 月に市場のアナリストが予想した以上に今後急速に市場が立ち上がると筆者は期待している。

Videoconferencing Insight <http://www.vcinght.com>

導入事例

大塚商会、国内最大規模の HD ビデオ会議ネットワークを導入、全国 28 拠点 32 台を設置

株式会社大塚商会(東京都千代田区)とポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、大塚商会が HD(ハイデフィニション)対応の Polycom HDX シリーズビデオ会議システムを 32 台、28 拠点に導入したと発表。HD でのビデオ会議をエンドツーエンドで実現した国内最大規模の導入となる。

今回の導入では、まずインフラ側では HD で多地点接続機能を提供する「Polycom RMX 2000」を、それに対して、端末側には HD に対応した「Polycom HDX 8000 シリーズ」、「Polycom HDX 9000 シリーズ」を採用した。



Polycom RMX 2000

HD のビデオ会議接続を可能とするためには、1拠点当たり約 1Mbps 程度の通信帯域を確保する必要がある。そのため大塚商会では、社内基幹系ネットワークとは切り離し、光回線をアクセス回線として採用した HD ビデオ会議専用のネットワークを構築した。

大塚商会では 2003 年からブロードバンドを利用したビデオ会議環境を構築し、全国の拠点で遠隔地との会議、打合せなどに社内で広く活用していた。「HD 対応製品の登場を機に高品質な音声と映像、ネットワークへの親和性、相互接続性、使いやすさなどの観点で、ポリコム製品を選択し、全面的に入れ替えを実施した。」(大塚商会、ポリコムジャパン)



Polycom HDX 8000 シリーズ



Polycom HDX 9000 シリーズ

大塚商会は、ポリコムプラチナ認定販売代理店。プラチナ販売代理店は、製品、ソリューションとネットワークに関する最高レベルの販売、技術、サポート・サービス要件を満たすパートナーという。「今後も大塚商会では、社内での構築、運用の経験とノウハウをもとに、お客様に対するビデオ会議ソリューション提案をさらに強化していく。実体験できるオープンスペースも予約制で提供する考えだ。」(大塚商会)

米ジョージタウン大学、ワシントン D.C.とカタールのドーハをポリコムのテレプレゼンスで結んだグローバルクラスルーム環境を構築

米ポリコム社は、米ジョージタウン大学がポリコム社のテレプレゼンスソリューション「Polycom RPX(Polycom RealPresence Experience HD)」を導入したと発表。ジョージタウン大学は、Polycom RPX を使用し、ワシントン D.C.とカタールのドーハにあるキャンパスを結ぶグローバルクラスルーム環境を実現する。

カタールの首都ドーハにあるジョージタウン大学の School of Foreign Service は、Walsh School of Foreign Service の最初の分校で、中東や全世界の学生向けに 4 年間の国際政治学の学部過程を提供している。

グローバルクラスルーム構想は、カタール校の学部長である James Reardon-Anderson 氏の指導の下、両キャンパスで一貫した学習環境を提供するために立ち上がった。そこで両キャンパスを結ぶシステムとして、ポリコム社の Polycom RPX HD が採用された。

Polycom RPX HD は現在、同学科関連の科目で利用されており、David Edelstein 教授がワシントン D.C.から現地とカタール両方の教室にいる学生と一緒に授業を行っている。その中で学生は 11,250km の距離を超えてクラス・ディスカッションも行っている。

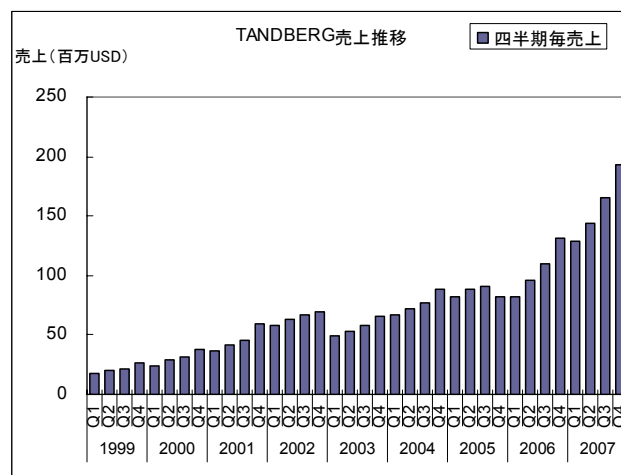
Polycom RPX HD によって、距離的に離れた教師と学生と一緒に研究し学習するという経験ができる環境を実現できたことにジョージタウン大学では非常に満足をしている。同大学では、今後別の科目やあるいは学生集会などでも利用することを検討している。

業績発表

NASDAQ 上場企業の業績レポート

2007 年 10 月-12 月期

TANDBERG



ノルウェーのビデオ会議メーカー タンバーク社の 2007

年第四四半期の売上は、過去最高の1億9290万USD(約192億円)を記録。通年では、6億3050万USD(約629億円)となった。2006年は、4億1870万USD(約418億円)で50.2%の成長を記録した。

四半期の売上の70%が端末販売、17%がネットワーク販売、13%がサービスとなっている。

第四四半期のビデオ会議端末は、過去最高の16,787台を出荷。昨年同四半期の12,744台を大幅に上回った。結果2007年総台数は、58,562台(2006年:40,118台)。

北米は、全体の売上の44.9%、EMEA(欧州中東アフリカ)は、44.3%、アジア太平洋は、10.7%。

セミナー・展示会情報

「Web会議」の常識を超える、HDで実現する映像豪快美

日時:4月15日(火) 15:30 - 17:30

会場: キヤノンソフト情報システム 東京支社
(東京都豊島区東池袋 1-25-8 タカセビル)

主催: キヤノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1065>

「ここまで来た! HDビデオ会議活用事例」セミナー ~『人』と『人』をつなぐ、ポリコムの映像コミュニケーションとは~

日時:4月16日(水) 13:30-17:00 (受付開始:13:00)

会場: NECブロードバンドソリューションセンター(東京都/港区)

主催: NEC

協賛: ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:

<http://www.nec.co.jp/univerge/seminar/partner080416/>

Web会議はオフィスで本当に役に立つ!? 賢い企業はこう使う!!

~Web会議 画期的活用術ご紹介セミナー~

日時:4月17日(木) 15:00 - 17:00

会場: キヤノンソフト情報システム 大阪本社

主催: キヤノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1055>

Wainhouse Research Collaboration Summit - Berlin 2008

The premiere interactive forum on Unified Communications

会期:4月8日-10日

会場:ドイツ ベルリン The Steigenberger Hotel

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細: <http://www.wainhouse.com/berlin08/>

ZDNet Japan スペシャル

ZDNet Japan (<http://japan.zdnet.com/>) スペシャルで2月7日より「進化するテレビ会議」特集が始まりました。その中で、橋本もコラムを何回か書かせていただくことになりました。よろしければご覧いただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

進化するテレビ会議

<http://japan.zdnet.com/sp/feature/visualcomm/>

- 進化するテレビ会議(7)--単純には進まなかった会議システムのIP化(3月27日)
- 進化するテレビ会議(6)--アエスラ:通信機器のノウハウ活かす会議システム(3月19日)
- 進化するテレビ会議(5)--タンバーク:業務を革新させるビデオ会議システム(3月10日)
- 進化するテレビ会議(4)--ポリコム:会議の質を変えるHD対応からテレプレゼンスへ(2月29日)
- 進化するテレビ会議(3)--NTT アイティ:会議システムは業務改善ツール(2月21日)
- 進化するテレビ会議(2)--ビジュアルコミュニケーションの歴史(2月14日)
- 進化するテレビ会議(1)--ホウレンソウと遠隔会議システムの深い関係(2月7日)

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

セミナー・展示会情報は随時アップデートしていますので、よろしければ<http://cnar.jp>のセミナー・展示会情報をご覧いただければと存じます。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介